

令和8年第1回 仙台市入札等監視委員会 会議録

【署名】

石川 宣子



1 日時 令和8年2月3日(火) 15時00分～16時30分

2 開催場所 仙台市役所二日町第二仮庁舎(MSビル二日町)6階 会議室

3 出席委員

石川 宣子 委員

鍵屋 浩司 委員

高畑 柊子 委員

畠山 裕太 委員

平岡 智広 委員

(50音順 敬称略)

4 説明等のため出席した者の職・氏名

財政局 財政部 契約課長

渡邊 信一

財政局 財政部 契約課 主幹兼工事契約係長

関本 英嗣

財政局 財政部 契約課 管理係長

相澤 文

都市整備局 技術管理室 技術企画担当課長兼被災地支援担当課長

渡部 昭彦

都市整備局 技術管理室 総括主任

伊藤 洋

ガス局総務部財務課長

大槻 憲幸

ガス局総務部財務課契約係長

根本 大助

ガス局お客さまサービス部工事サービス課長

佐々木 守

ガス局お客さまサービス部工事サービス課内管工事第二係長

遠藤 昭裕

5 会議の経過

【1】 開会

【2】 委員長の選出ほか

(1) 委員長の選出

委員互選により、次の通り委員長を決定した。

委員長： 鍵屋 浩司 委員

(2) 委員長職務代理者の決定

鍵屋委員長の指名により、次の通り委員長職務代理者を決定した。

委員長職務代理者： 平岡 智広 委員

【3】 議事の経過及び内容

進行： 鍵屋 浩司 委員

会議録署名委員： 石川 宣子 委員

(1) 工事に係る入札及び契約の手続の運用状況について

事務局より、「入札方式別発注工事総括表」（会議資料 P. 1）、「入札方式別発注工事一覧表」（会議資料 P. 2～26）、「指名停止の運用状況一覧表」（会議資料 P. 27～28）に基づき報告。

(2) 事案の抽出及び審議事案の選定について

- 1) 事務局より、今回審議対象となる 268 件の工事のうち、平岡委員が事前に抽出した「入札方式別発注工事抽出事案」10 件を報告。（詳細は資料 P. 29 参照）
なお、その際案件の抽出に関し、次の質疑がなされた。

- 2) 委員会において、1) の 10 件のうち本日審議する事案として以下の 6 事案を選定。

【選定事案】

◆制限付き一般競争入札

- ① 広瀬川第 3 雨水幹線導水管工事 3 （平岡委員）
- ② 海岸公園（藤塚地区）整備工事（平岡委員）
- ③ 仙台市宮城消防署熊ヶ根出張所増築等工事（高畑委員）
- ④ 仙台市四郎丸市営住宅 7 棟外壁等改修工事（石川委員）
- ⑤ 仙台市鶴ヶ谷東コミュニティ・センター大規模改修工事（平岡委員）

◆随意契約

⑨松森工場搬出クレーン更新工事（畠山委員）

（３）抽出事案の審議

【質疑応答】

「①広瀬川第３雨水幹線導水管工事３」について

論点等	発言者	発言内容
予定価格と入札価格が同額であることについて	委員	本件は４回目の公告であり、１～３回目は不調となったため、４回目では総合評価方式を採用しなかったとの説明だが、このように不調が続いた場合に方式を変更する対応は、他案件でも通常行っているのか。
	事務局	一律に定まっているものではなく、個別に判断し、対応している。本件については、入札参加者無しの不調が３回続いたことにより、市場での競争性が十分に機能していないと判断し、総合評価方式を採用しなかった。

「②海岸公園（藤塚地区）整備工事」について

論点等	発言者	発言内容
総合評価について	委員	本件では落札者よりも入札額が低い入札があるが、総合評価における評価値により落札者を決めたという理解でよいか。また、総合評価方式についての基準等を定めているのか。
	事務局	落札者の決定の考え方についてはご認識のとおり。総合評価方式については仙台市で「発注工事における総合評価一般競争入札の手引き」を定め、それに則り運用している。
手引きの公開について	委員	その手引きは公開されているものなのか。
	事務局	仙台市ホームページで公開している。
評価点について	委員	入札参加者は自分の評価点を入札前に把握しているのか。また、他社の評価点を把握した状態で入札に参加できるのか。
	事務局	仙台市の総合評価方式では、入札参加者が手引きに則り、自分の評価点を作成し、提出する。仙台市ではその点数の妥当性について審査をしている。また、他社の評価点については、ある程度類推できる部分もあるが、完全に把握することは制度上難しい。
業務実績について	委員	評価対象となる業務実績は、仙台市の工事だけか。他自治体の工事も含まれるのか。
	事務局	仙台市に限らず、国・地方公共団体等が発注した公共工事全般の実績を評価対象としている。
業務実績に	委員	実績が少ない企業が受注できないということはあるのか。

について	事務局	案件の規模に応じて、実績の少ない企業も参加できるような条件を設定する等で対応している。
------	-----	---

「③仙台市宮城消防署熊ヶ根出張所増築等工事」について

論点等	発言者	発言内容
落札率について	委員	落札率が100%となった理由をどう考えているか。
	事務局	本件の予定価格については事前に公表している。入札者が設計書等に基づき積算をした結果、予定価格と同額の入札を行う判断になったのだと考えている。
評価方法について	委員	失格基準価格等のように総合評価の評価値においても、最低点のように下回ると失格になる基準はあるのか。
	事務局	ない。総合評価は入札参加資格を満たし、有効札となった入札者を比較するための制度として考えている。
所在地要件について	委員	入札不調となった場合、入札参加要件の所在地要件を緩和するということを行っているのか。
	事務局	行っている。個別の状況を考慮し、入札参加要件について決定をしている。
条件緩和について	委員	具体的な基準等はあるのか。
	事務局	形式的に一律に判断できるような基準等は設定していない。個別の案件ごとに判断している。

「④仙台市四郎丸市営住宅7棟外壁等改修工事」について

論点等	発言者	発言内容
参加条件について	委員	本件は3回目の公告となっているが、1～2回目の公告時と予定価格は変わっているのか。
	事務局	物価上昇等を反映し、予定価格を引き上げている。
技術者不足について	委員	1回目、2回目の入札で落札者がいれば、より安く契約できた可能性はあるか。
	事務局	より安く契約できた可能性は否定できないが、本件では発注時期と事業者側の技術者の空き状況が合わず、結果として難しかったと考えている。
施工箇所について	委員	発注予定の工事について、事前公表等を行っているのか。
	事務局	工事の発注予定については年4回事前公表を行っている。
契約成立時期について	委員	この時期は、全体として契約成立率が高い時期と言えるのか。
	事務局	契約の成立については、工種や工事の内容によっても異なるので、一概には言えない。年度途中の発注だと技術者が不足している傾向はあるかと思

		う。
--	--	----

「⑤仙台市鶴ヶ谷東コミュニティ・センター大規模改修工事」について

論点等	発言者	発言内容
格付評点について	委員	入札条件の格付評点の設定に上限を設定しているが、こうした設定をすることもあるのか。
	事務局	ある。受注機会を均等化するためにこうした設定としている。
総合評価について	委員	本件は2者入札しており、両者の入札金額には大きく差がある。本件のように、金額で大きく差があるが、評価値で逆転し、入札金額が高いほうが落札するケースは総合評価方式ではよくあるケースなのか。
	事務局	頻繁にあるわけではないが、珍しいケースではない。入札金額については企業個々に自分たちの評価値等を考慮し、設定しているものだと考えている。

「⑨松森工場搬出クレーン更新工事」について

論点等	発言者	発言内容
相手方について	委員	当初から、本件落札者以外では履行ができないと判断していたのか。
	事務局	一般的に、こうした工種の案件は、当初から、独自システム等を考慮すると契約業者以外では履行はできないと判断できるものである。
契約金額について	委員	1者特命となると、実質的に「言い値」ということにならないのか。
	事務局	業者から見積を徴収するが、その金額をそのまま採用するというのではなく、こちらで積算をし、妥当性を検証したうえで予定価格を決定している。
契約金額について	委員	見積を徴収した後に、業者と話し合い調整をすることはあるのか。
	事務局	独自仕様等に係る分については調整をすることが難しいこともあるが、こちらでも積算が可能な部分については、調整を行う場合もあるかと思う。
特許等について	委員	特許等については期限が切れた後も、公開はされないものなのか。
	事務局	特許には期限があるため、期限切れとなる場合もある。しかし、当該業者が保有する特許は更新されているため、結果として他社では対応が困難な状況が続くと考えている。

以上のほか「全体を通しての質疑」について

特に質問はなかった。

6 その他

(1) 今後の予定に関して、事務局から各委員に次のとおり依頼及び通知した。

- ① 次回の抽出委員は石川委員に依頼する。
- ② 次回の委員会の日程は、令和8年5月の予定である。

7 閉会